製剤技師の会
活動紹介

製剤技師の会　運営委員会

製剤技師の会について

本学会の認定製剤技師の資格取得者が，情報や意見交換などを通じて交流を行う会

- ◆ 研究開発・生産・CMC業務の第一線で活躍する製剤技師同士の情報交換の場の提供
- ◆ 製剤技師の連携を通じて，技術・知識レベルの向上，企業における職務・業務での種々の課題解決の提言作成
- ◆ 本学会の活動への参画を促進し，優れた研究者・指導者との接点を創出する

2012年11月26日（有志の会として発足）
2018年5月15日（日本薬剤学会　技術伝承委員会の下部組織となる）
会員数（2023年3月現在）：96名

製剤技師の会　情報交換会

2019年5月16日（木）13:55～16:00@富山国際会議場　206会議室

製剤技師の会　懇親会

2019年5月16日（木）18:30～　@　富山　おさかな家

運営委員会メンバー

役割	氏名	会社
会長	望月　勢司	帝人ファーマ
運営委員	内田　浩	杏林製薬
運営委員	及川　倫徳	沢井製薬
運営委員	水谷　仁弥	カネカ
運営委員	倉嶋　誉	キッセイ薬品工業
運営委員	梅崎　慎也	参天製薬

製剤技師の会で何をやっている？①

製剤技師の情報交換・勉強会
（製剤技師サロン）

毎月第三木曜日　17～19時
オンラインで開催（Zoom, Teams）

参加は無料で自由！
途中参加、途中退室もあり！
毎回、製剤技師の興味ある話題について、
講師を招いて話題提供、ディスカッションを実施してます。

回	日程	テーマ
1	2021年6月	今後求められる製剤技術とは？
2	7月	IoT, ITを活用した製剤研究開発
3	8月	難溶性薬物の製剤化技術
4	9月	研究開発および医療現場でのAIの活用
5	10月	Manufacturing Classification System（MCS）について
6	11月	医薬品添加剤の活用方法
7	12月	病院薬剤部での製剤ニーズと課題
8	2022年1月	新年座談会
9	2月	新製剤技術と製剤機器
10	3月	「連続生産と高薬理活性対応技術」

回	日程	テーマ
11	2022年4月	病院薬剤部での製剤ニーズと課題②
12	5月	点眼剤の製剤設計
13	6月	製剤技師について語ろう！
14	7月	治験薬あれこれ
15	8月	医薬品の容器・デバイス
16	9月	界面活性剤を用いた製剤技術
17	10月	高度精製医薬品添加剤
18	11月	ニューモダリティー
19	12月	ワイガヤトークやりませんか
20	2023年1月	製薬シミュレーションの活用事例とメリット
21	2月	固形製剤のエンジニアリング技術

製剤技師の会で何をやっている？②

日本薬剤学会　年会での発表、情報交換会

毎年5月に開催されている日本薬剤学会年会に合わせて、製剤技師の会からの発表や情報交換会を実施してます！

製剤技師の会での検討の成果を発表したり、
会員どうしのFace-to-Faceの交流の場としています。

時期	場所	活動内容
2013年	名古屋	第１回　製剤技師の会会合・懇親会（参加17名） ※製剤技師の会の運営について
2014年	大宮	第２回　製剤技師の会会合（参加17名） ※理想の製剤設計について
2015年	長崎	第３回　製剤技師の会会合・懇親会（参加10名） ※リスクマネジメントを踏まえた製剤開発 ※先発メーカー、Genericメーカーから見た製剤化技術の特徴
2016年	岐阜	第４回　製剤技師の会会合・懇親会（参加16名） ※製薬企業現場でのノウハウ事例集の作成 ※打錠障害の原因検討の手法　※委託先監査

時期	場所	活動内容
2017年	大宮	第５回　製剤技師の会会合・懇親会（参加10名） ※アンケート結果紹介と意見交換 ※連続生産におけるデザインスペースの構築について
2018年	静岡	第６回　製剤技師の会会合・懇親会（参加15名） ※アンケート結果紹介と意見交換 ※海外治験のトラブル事例、留意すべきポイント
2019年	富山	製剤技師の会　情報交換会、懇親会 ※レクチャー：明治薬科大学　深水哲朗先生 難水溶性薬物のコクリスタル化と製剤設計 ※製剤技師の会　アンケート結果とディスカッション

2020～2022年は、新型コロナによる紙上開催のため実施せず

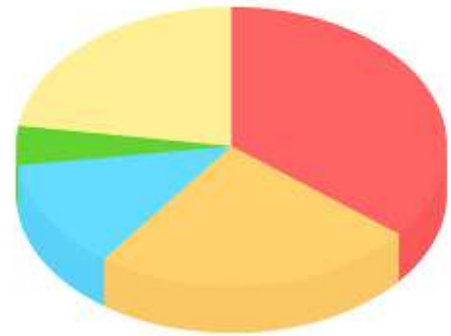
製剤技師の会で何をやっている？③

製剤技師どうしの質疑応答

こんな場合はどうしている？
これについて知りたい！
こんな考えはどう思う？
いろんな疑問や考えをワイガヤトークで話してもらい、
他社の製剤技師から意見をもらえます。

製剤技師の会　アンケート

製剤開発・生産に関わる製剤技師の考え方
レギュレーション・ガイドラインの対応の仕方
最新技術の導入の動向など
企業の第一線で活躍する製剤技師の考え方を知ることができます。



特定テーマのチーム検討

人材育成・技術伝承をどのように実施したらよい？
将来注目の製剤技術はなにか？製剤はどう変わる？など
各社共通の課題をテーマに有志メンバーでチームを組んで
調査・ディスカッションを行うことができます。

そして、、コロナが落ち着いたら、製剤技師の会で懇親会も再開したいと思います！

こんな感じでやってます・・・

ワイガヤトークシート

12月度製剤技師の会では、皆さんから話題のネタをもちよりワイガヤトークをやります。
皆さんよりワイガヤトークネタを募集します。
皆さんへの話題提供、ご意見聞かせて、こんなこと知りたい、これを教えて、なんでも結構です。

内田（杏林製薬）

製剤研究開発におけるDXについて，どこまで取り組んでいますか？

＜デジタル技術＞
- データサイエンス（データマイニング，可視化，機械学習，プログラミング）
- モデリング＆シミュレーション（分子計算，流体・粉体解析，薬物動態解析）
- Lab Automation
  例）造粒工程の造粒進行要因分析，製法選択基準の可視化，IVIVCモデル

×

＜製剤開発＞
- 処方開発
- 製法開発
- 実験自動化/高速化　など
  ※その他：人材育成，データ・解析基盤，知識共有・伝承，コミュニケーション，働き方改革など

★データドリブンとモデルドリブンの比重は？

製剤技師サロン参加者の声

お題を決めて各社でどうやっていますか、というアンケートは参考になりました。自社で困った時に聞ける人がいるというのは心強いと思いました。

日頃なかなか聞けないような話題、例えば、原薬の2ndソースの考え方の話を他社の製剤技師から聞けたのは大変参考になった。

食品と医薬で仕事の進め方が異なってくることに最近気づいてきている。医薬品の開発は多岐にわたり長期になるので、製剤技師の会がモチベーション維持に繋がっていると思う。

毎回セミナーは勉強になっている。自社は吸入剤がメインなので、他の剤形の話を聞いて諸先輩がどんな観点で考えているかが参考になる。コロナで集まるのが難しいなか月一回あることがモチベーション維持に繋がる。

製剤技師の会への参加申し込みについて

入会ご希望の方、または製剤技師の会の活動にご興味のある方は、お気軽に下記までメールまたはお電話でご連絡ください。

帝人株式会社
再生医療新事業部
望月　勢司

s.mochizuki@teijin.co.jp
TEL: 0827-29-0715